



子ども家庭局

一般会計要求総額 61,558百万円
(対前年度 +6.4%)

〈判例〉

新: 新規事業、拡: 拡充事業

〈予算要求の基本的考え方〉

- ◆「元気発進!子どもプラン(第2次計画)」に基づき、「子育て日本一を実感できるまち」の実現を目指す。
- ◆「子ども・子育て支援新制度」のもと、幼児期の学校教育や保育、地域子育て支援の量の拡充による待機児童対策の推進や質の向上などを図る。
- ◆「1億総活躍」「地方創生」を推進するため、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現」を目指し、更なる子育て環境の充実を図る。
- ◆「子どもの貧困対策」に資する必要な環境整備を、総合的に進める。

「待機児童対策」の推進、教育・保育の質の向上

保育所の適正配置等の推進	596	〔保育課〕
拡地域型保育給付事業(小規模保育)	1,421	〔保育課〕
予備保育士雇用費補助	116	〔保育課〕
拡私学助成(幼稚園)	256	〔幼稚園・こども園課〕
新私立幼稚園特別支援教育助成事業〔※予算要求 教育委員会〕	14	〔幼稚園・こども園課〕

「地方創生」の推進(結婚から子育てまで一貫した支援)

新ウェルカムベビー応援事業	23	〔総務企画課〕
新「(仮称)北九州出会いサポートセンター」開設運営補助事業	10	〔青少年課〕

「子どもの貧困対策」の推進(ひとり親家庭等への支援)

新ひとり親家庭面会交流支援事業	1	〔子育て支援課〕
新ひとり親家庭等巡回相談事業	22	〔子育て支援課〕
新虐待を受けた子どもの心のケア等推進事業	4	〔子ども総合センター〕

一人ひとりに寄り添った訪問支援(アウトリーチ)の推進

新不登校等の困難を抱える子どもたちの支援事業(アウトリーチモデル事業)	3	〔青少年課〕
新ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業	5	〔子育て支援課〕

「待機児童対策」の推進、教育・保育の質の向上



拡地域型保育給付事業(小規模保育)

年度中途の入所が困難な3歳未満児の保育ニーズに対応するため、小規模保育を実施する事業者に対し、施設整備費、運営費等の一部を助成する。

新私立幼稚園特別支援教育助成事業

幼児期における特別支援教育の充実を図るため、私立幼稚園において特別な教育的支援を必要とする園児の受け入れを促進できるよう支援する。

「地方創生」の推進(結婚から子育てまで一貫した支援)

新ウェルカムベビー応援事業

産前・産後などの子育ての負担を強く感じる家庭に、子育てへの不安や負担の軽減を図るため、家事援助などの支援を行う。

新「(仮称)北九州出会いサポートセンター」開設運営補助事業

結婚を希望する若者に出会いの場を提供するため、民間主導で開設する「(仮称)北九州出会いサポートセンター」の運営を支援する。

「子どもの貧困対策」の推進(ひとり親家庭等への支援)

新ひとり親家庭面会交流支援事業

離婚等に伴い離れ離れになった親子の面会交流について、別居親又は同居親からの申請に応じ、事前相談や面会の際の付き添い援助等の支援を行う。

その他主な事業

新「(仮称)子どもの安全を守る『深夜はいかい防止』北九州市宣言」事業

企業・団体、深夜営業を行うカラオケ・コンビニなどに、はいかいする子どもへの声かけ・深夜の入店規制等の取り組みへの参加・活動を促進する。

放課後児童クラブ事業

利用を希望する児童を円滑に受け入れるとともに、利用児童数の増加に対応し、待機児童ゼロを維持するため施設整備を行う。

「一人ひとりに寄り添った訪問支援(アウトリーチ)」の推進

新不登校等の困難を抱える子どもたちの支援事業(モデル事業)

不登校やひきこもりなど困難を抱える中学生や保護者を対象に、訪問支援等を通じて一人ひとりに寄り添った伴走型支援等を行う。(平成28年度は実現可能性調査としてのモデル実施)。

新ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業

ひとり親家庭の子どもに対し、親が帰宅するまでの間、学習支援や食事の提供等を行う居場所づくりを進める。